

第5章 形（投の形）

【正誤式】(○か×で回答)

1. 投の形は講道館創設当初、乱取の形として制定された。
2. 投の形は手技・腰技の2分類のみで構成されている。
3. 投の形では各技を右・左の両方で練習する。
4. 浮落は手技に分類される。
5. 背負投は足技に分類される。
6. 肩車は手技の代表技の一つである。
7. 浮腰は腰技に分類される。
8. 払腰は真捨身技に分類される。
9. 釣込腰は腰技に分類される。
10. 送足払は足技に分類される。
11. 支釣込足は足技に分類される。
12. 内股は横捨身技に分類される。
13. 巴投は真捨身技に分類される。
14. 裏投は真捨身技に分類される。
15. 隅返は真捨身技に分類される。
16. 横掛は横捨身技に分類される。
17. 横車は横捨身技に分類される。
18. 投の形の技は各分類から3本ずつ選ばれて構成されている。
19. 投の形は乱取の投技を理解するために作られた。
20. 投の形では受け方の練習は行わない。
21. 投の形の練習では崩し、作り、掛けを学ぶ。
22. 巴投・裏投・隅返はすべて真捨身技に分類される。
23. 横掛・横車は横捨身技に分類される。
24. 手技・腰技・足技は投技の大分類である。
25. 投の形は乱取を補完するための形である。
26. 投の形は乱取の形として明治17、18年頃に制定された。
27. 技の左右両側を行うことで体のバランスも養われる。
28. 投の形には浮技は含まれない。
29. 投の形は技の理合を体得することを目的としている。

【正誤式:解答】

1.○

2.×

3.○

4.○

5.×

6.○

7.○

8.×

9.○

10.○

11.○

12.×

13.○

14.○

15.○

16.○

17.○

18.○

19.○

20.×

21.○

22.○

23○

24○

25.○

26.○

27.○

28.×

29.○

【穴埋め式】

1. 投の形は乱取の形として講道館創設当初、()に制定された。
A 明治 17-18 年頃 B 大正期 C 昭和初期
2. 投の形は乱取に用いる()の理合を理解するために作られた。
A 受身 B 投技 C 当身
3. 投の形は手技・腰技・足技・真捨身技・()から構成される。
A 補助技 B 横捨身技 C 当身技
4. 手技には浮落・背負投・()が含まれる。
A 大外刈 B 肩車 C 小内刈
5. 腰技には浮腰・払腰・()がある。
A 隅返 B 釣込腰 C 送足払
6. 足技には送足払・支釣込足・()がある。
A 浮技 B 浮落 C 内股
7. 真捨身技には巴投・裏投・()がある。
A 横掛 B 横車 C 隅返
8. 横捨身技には横掛・()・浮技が含まれる。
A 支釣込足 B 浮腰 C 横車
9. 投の形は各技を()で練習する。
A 左技のみ B 右・左双方 C 右技のみ
10. 技の習得では崩し・作り・()を学ぶ。
A 受身 B 掛け C 体当たり
11. 投の形は乱取の()として制定された。
A 終了動作 B 補助運動 C 形
12. 浮落は()に分類される。
A 腰技 B 手技 C 足技
13. 背負投は()に分類される。
A 足技 B 腰技 C 手技
14. 肩車は()に分類される。
A 横捨身技 B 手技 C 真捨身技
15. 払腰は()に分類される。
A 手技 B 腰技 C 足技
16. 釣込腰は()に分類される。
A 足技 B 腰技 C 真捨身技
17. 支釣込足は()に分類される。
A 横捨身技 B 足技 C 腰技

18. 巴投は()に分類される。
A 横捨身技 B 真捨身技 C 足技
19. 裏投は()に分類される。
A 足技 B 真捨身技 C 横捨身技
20. 隅返は()に分類される。
A 真捨身技 B 足技 C 手技
21. 横掛は()に分類される。
A 足技 B 横捨身技 C 手技
22. 横車は()である。
A 腰技 B 横捨身技 C 真捨身技
23. 投の形の各分類は代表的な技を()ずつ選んで構成される。
A 5本 B 2本 C 3本
24. 投の形の目的は技の理合を()することである。
A 分解 B 理解・体得 C 省略
25. 投の形では()も練習する。
A 蹴り B 当身 C 受け方
26. 内股は()に分類される。
A 横捨身技 B 足技 C 腰技
27. 浮腰は()である。
A 手技 B 真捨身技 C 腰技
28. 送足払は()である。
A 手技 B 足技 C 腰技
29. 投の形の練習は()ために行う。
A 礼法の習得 B 体力向上のみ C 技の基本を身につける
30. 投の形は乱取で投技を活かすための()である。
A 応用 B 基礎 C 競技

【穴埋め式:解答】

1. A
2. B
3. B
4. B
5. B
6. C
7. C
8. C
9. B
10. B
11. C
12. B
13. C
14. B
15. B
16. B
17. B
18. B
19. B
20. A
21. B
22. B
23. C
24. B
25. C
26. B
27. C
28. B
29. C
30. B